

事業名	国際化啓発推進事業		担当課	部局	県民文化部
				課・室	国際課
総合5か年計画	プロジェクト		実施期間	E-mail	kokusai@pref.nagano.lg.jp
	施策の総合的展開	2-2 協働、人権尊重、男女共同参画社会の実現 4国際化の推進		S52	～

1 事業の概要

目指す姿	<p>○国際交流員等の活動を通じて、県民の国際感覚の涵養が図られ、異文化理解・国際理解が促進され、県全体の国際交流が活発になる。</p> <p>○地域の国際化を推進するため、長野県国際化協会の運営基盤を強化する。</p>
------	--

現状 (予算編成時)	<p>○県民が行う国際交流イベントへの派遣要請に応じ国際交流員等を派遣している。</p> <p>○外国籍県民の定住化が進行し、地域の国際化を推進するため、長野県国際化協会は、国際交流事業のほか外国籍県民等の生活支援事業を展開している。</p>
------------	---

県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】
	県民との協働による実施： 実施中	<p>○県民の自発的な国際交流を促進するための環境整備は県の役割である。</p> <p>○長野県国際化協会の担う役割は公共性が高く、平成25年4月から公益財団法人に移行。</p>

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H27)
	<p>○県民の国際交流活動を支援するため、国際交流員2名が派遣要請に応じる。(H25 実績 115回)</p> <p>○長野県国際化協会の運営体制の強化を図り、必要な関与を行う。(協会事業の目標 アンピニュースの発行、国際理解講座の開催、移動領事館の開催)</p> <p>○新たな友好提携による交流活動のための会談や視察を行う。</p>

成果目標・事業内容	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H27事業実績	H27 (当初)	H27 (決算)	H28 (当初)
	国際交流推進事務費	直接	国際交流に係る事務費	253	246	220
	英語通訳嘱託員設置事業	直接	県の国際関連業務の通訳及び資料作成に係る翻訳業務	4,296	3,970	4,238
	中国語通訳嘱託員設置事業	直接	〃	4,296	4,226	4,640
	国際交流員設置事業費	直接	小中学校等への訪問、国際理解講座等での講演、国際交流イベントへの参加や自主企画イベントの開催	10,595	9,709	10,469
	(公財)長野県国際化協会運営補助事業	補助金	運営体制の強化を図るため、補助金を交付して運営を支援	2,606	2,606	2,606
	ミズーリ州姉妹提携50周年記念事業	直接	姉妹提携50周年を迎えるに当たり、ミズーリ州知事を招待して、記念式典を開催する。	5,500	1,422	1,035
	海外友好提携事業	直接	友好提携先との交流を継続するとともに、新たな提携先との交流事業を展開するため、会談や視察を通じて情報交換を行う。	8,527	8,131	0
	国際関係パートナーシップ強化事業	直接	韓国、中国、米国等との具体的な協力・連携事業を推進し、より一層の関係強化を図る。			9,966
			合計	36,073	30,310	33,174

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越				
	当初予算	22,045	22,000	36,073	33,174
	補正予算			-3,705	
	合計(A)	22,045	22,000	32,368	33,174
	一般財源	21,973	13,053	27,112	24,338
	県債				
	国庫支出金				
	その他	72	8,947	5,256	8,836
	決算額(B)	20,865	20,655	30,310	
概算人件費	職員数(人)	3.00	2.50	2.50	3.50
概算事業費(B(A)+C)	概算人件費(C)	24,774	20,645	20,690	28,966
		45,639	41,300	51,000	62,140

成果目標の達成状況	項目	H26末 (実績)	H27 目標	H27 成果	H27 達成状況	H28 目標
	国際交流員派遣回数	110回	110回	177回	達成	132回
	国際交流員派遣満足度	4.5	4.5	4.6	達成	4.6
	国際化協会ニュース発行部数	420部	420部	470部	達成	400部
	国際化協会国際理解講座開催数	5回	5回	5回	達成	-
	国際化協会移動領事館の開催	2回	2回	1回	未達成	-

目標に対する成果の状況	<p>2名(英語圏・中国語圏)の国際交流員は、小中学校や地域での異文化理解講座や、海外からの訪日教育旅行やマスコミ招へい、研修・視察受入等多岐に及ぶ業務に積極的に対応した。</p> <p>長野県国際化協会は、「民間主導の団体として運営しつつ、必要な県関与の実施」を行っており、経済界の協力を受け県内大学留学生と県内企業との出会いの創出への取組み、外国籍県民の能力を活用した子どもや大人向けの日本語学習支援、領事館側の都合により1回の開催となったものの移動領事館などでも生活支援に取組んだ。</p> <p>また、平成27年度を国際関係再構築年として世界の様々な国・地域との関係強化に取り組んだ。特に最も近い隣国である韓国を長野県知事として初めて訪問し、ソウル市及び江原道との交流が開始し、経済交流の推進、包括的な友好提携について協議を行った。また、12月には2022年北京冬季五輪の開催地となった河北省(張家口市)を知事が訪問し、張慶偉河北省長との会見を行い当該五輪への官民一体での支援・協力を表明。また、冬季スポーツ振興のためのトップセールス、中国要人との会見を行った。</p>
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<p><input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施</p> <p>国際交流員や長野県国際化協会から、県内の市町村ALTや外国籍県民など多様な国際交流の担い手に働きかけ、協力・連携し、地域における異文化理解、国際交流の意識づくりに引き続き取り組んでいく。国際化協会では、在住外国籍県民の利便性の確保のため、領事館側との連絡を密にし、移動領事館開催の働きかけをしていく。</p> <p>また、平成27年度に国際関係再構築年として取り組んだ事業を継続し、国際関係パートナーシップ強化事業として相手国との関係をより強固なものとするとともに、経済や観光など協力・信頼関係の構築と相互利益の実現をめざし、本県の国際関係の針路を策定する。</p>
--------------------	---